

# はやしだより



公益財団法人 林精神医学研究所  
附属林道倫精神科神経科病院

〒703-8520  
岡山市中区浜472番地  
TEL. 086-272-8811  
FAX. 086-273-9944

ホームページ  
<http://www.hayashi-dorin.or.jp/>  
E-mail:hamawww@po.harenet.ne.jp

2024年5号発行 広報誌 第44号

### ♥病院理念

その人らしく生きられるように  
共に支えあいます

### ♥基本方針

- 1、「心の病」の予防、治療、リハビリに取り組みます。
- 2、人権を尊重し、安全・安楽・信頼の医療に努めます。
- 3、地域と連携し、誰でも安心して暮らせる地域づくりに努めます。

## 高校生の演奏に感動

～岡山操山高等学校吹奏楽部演奏会 5年ぶりの開催～

コロナ禍で長く開催を見送っていた岡山県立岡山操山高等学校吹奏楽部(以下、操山高校吹奏楽部)による演奏会を、念願叶って4月27日(土)に5年ぶりに開催することができました。

病院の中庭での開催のため、午前中は小雨が降っており心配していましたが、午後からは帽子やタオルが必要なほどいい天気となり、250名を超える参加の下、盛大に行われました。

ダンスに合唱、演奏など色とりどりの内容で若さと華やかさに魅了され、あっという間の1時間でした。高校生の若さと可愛らしさに刺激され、入院生活の中で心から感動していただける時間となりました。操山高校の卒業生で自身も吹奏楽部に所属しフルートを演奏されていた患者様は、演奏を聴きながら、不自由な手でリズムを刻み感動を涙で伝えてくれました。また、演奏してくれた高校生に花束を渡した患者様は「寿命が5年延びました」と5年ぶりの開催とかけて笑いをとりました。

素晴らしい時間にしてくださった操山高校吹奏楽部の皆様、ありがとうございました。患者様も楽しみにされている行事なので、また来年も開催できたら嬉しいです。

作業療法科・作業療法士  
井塚 日文、山内 幹江



### 当院はお金のあるなしにかかわらず

## 安心して受診していただける病院です。

- 無料・低額診療事業を実施しています
- 差額ベッド代は頂いておりません

林病院は、患者さんの受療権を守る取り組みとして、無料・低額診療事業(無低診)を実施しています。無低診を適用されますと、当院の医療費が無料または低額になります。経済的な理由で医療費の支払いが難しい方、お気軽に相談室または受付まで、ご相談ください。適用にならない場合でも、解決策を一緒に考えていきます。

また、「命は平等である」との考え方から、差額ベッド代も頂いておりません。

# CVPPP(包括的暴力防止プログラム)

～当事者の方の味方であり続けるために～

“しーぶいとりぶるぴー”という言葉聞いた事があるでしょうか。おそらく多くの方にとって耳なじみの少ない言葉だと思えます。CVPPP(Comprehensive-Violence-Prevention and-Protection-Program)とは精神科における専門的な暴力へのケアのためのプログラムで、当院でも学習・普及を目指しているもののひとつです。暴力-防止という言葉面から、もしかするとCVPPP=制圧術を連想されるかもしれません。

もちろん暴力への対応時そういった場面が避けられないこともあり、CVPPPの一部にはそういった場面でも安全にケアがおこなえるような介入技術が存在します。しかし、CVPPPの中でより重要とされていることは、人が暴力に至るまでには前後にしっかりとプロセスや理由があり、暴力に至るまでの前段や普段からの関りの大切さ、その関りの中で築かれた良好な関係性が自然と暴力防止へとつながるという事です。

また、前述のような介入技術を行わざるを得ない場合にも、こういった声掛けや態度であれば当事者の方に安心感を覚えてもらいやすいか、差し迫った状況の中「抑えつけに来た人」ではなく当事者の方を「助けに駆け付けてくれた人」として捉えてもらう事ができるか。当然ではありませんが、私たち援助者も当事者の方もそれぞれに十人十色であり、双方の関りとなると「この対応が正解!」というマニュアルのようなものは到底成りえません。暴力そのものは肯定できるものではないですが、それに至った(あるいは至りそうになっている)経緯や想いには寄り添う事ができるかもしれません。

CVPPPの中でもすっきりとした答えは見つからないですが、それでも考え続け、当事者の方と関わり続ける事が私の、また当院の目指すべき方向だと思います。今後も院内でのCVPPP学習・普及に努めるとともに、困難な状況下に置かれている方をサポートしていきたいと思えます。

(中2病棟・看護師 渡辺 奏平)





## ～精神科認定看護師のこぼれ話～ その④

心のケガを理解し配慮する  
トラウマインフォームドケア

精神科認定看護師 高木 俊輔

私事ですが、私は不意に後ろから声を掛けられたり、夜勤の見回り時同僚が暗闇からすっと出てきたら、声が出るほど驚いたりしてしまい恥ずかしい気持ちになる事がよくあります。その驚く声で、周囲が驚くくらいです。何でこんなビビり体質になってしまったのか……。それは4つ年の離れた兄の影響が強いのです。兄は聡明で、面倒見がよく小さなころは可愛がってくれました。ただ、兄の趣味は私をあの手この手で驚かせることです。実家の階段の下には人が入れるスペースがあり、私が階段を降りるとスッと手が出て来たり……。夜中にトイレに行くとドアから出ると無言でスッと立っていたり……。このようないたずらで可愛がってもらった私は、すっかり、ちょっとしたことでビックリする体質が出来上がりました。今でも階段を降りる時、暗いところを歩くとき、ソワソワする気持ちになります。

最近、興味を持って学習していることがあります。それは「トラウマインフォームドケア」です。トラウマインフォームドケアとは、すべての人にトラウマ体験の影響があるかもしれないということを念頭に置いて、ケアを行おうとする考え方です。

例えば、子どもの頃に怒鳴り声を聞いたりしたことなどによって、大きな声や音が苦手な方は少なからずいらっしゃいます。また、学校時代にいじめに遇ってしまうことで、孤立感や自尊心を傷つけられる経験をされた方もいらっしゃいます。入院生活の中で「別の患者さんが大声で叫んでいる。」「急に後ろから話しかける。」「〇〇禁止の文面。」「閉鎖病棟の鍵の音。」「隔離や拘束といった行動制限」など様々な事が、人によっては過去のトラウマやこころのケガを思い出すきっかけになるかもしれないということに注意が必要です。私でいうと、兄に驚かせる体験が、トラウマ(心のケガ)になり、薄暗いところや階段が苦手で、その状況下に置かれると心がざわつくといい反応が起きるといったところでしょうか。心のケガを思い出すことで気持ちが不安定になり、今抱えている病状が悪化する要因にもなりかねないため、このような事を理解し配慮するケアがトラウマインフォームドケアです。

具体的には、「スタッフのほうから患者さんのもとを訪れ、困りごとや要望がないか尋ねる」「患者さんの要求や要望には、応えられる範囲でできるだけ早く応える」「病棟内に静かな環境のスペースを作る」「退室時などその場を離れる時には患者さんの顔を見て挨拶する」「〇〇禁止の張り紙はやめて、〇〇はさせていただきますと用語を用いる」等がトラウマインフォームドケアになります。当たり前のことですが、意識しないと忘れがちになってしまうことを大切にしなければなりません。スタッフが、トラウマの事を理解し、入院生活が安心して安全に思ってもらい、林病院に入院して良かったと思ってもらえるような環境づくりをするために、トラウマインフォームドケアをもっと広げていきたいなと思っています。私には、後ろから急に話しかけないでください。きっとトラウマを思い出し、大きな声で驚き皆さんにご迷惑をかけると思います(^^)。

# 新任医師の紹介



医科・医師 くに よし まなぶ  
**国吉 学**

4月より精神科専攻医として林病院に入職いたしました、国吉学と申します。出身地は広島県、出身大学は山口大学です。林病院に入職する前は、広島市にある福島生協病院という病院で初期研修医として2年間、内科を中心に診療していました。学生の頃は野球やバレーボールをやっていました。その時、精神障がい者のスポーツチームのバレーボールチームにボランティアとして一緒に練習する経験をしたことがきっかけで、精神科医を志そうと決めました。皆さま宜しくお願いします。

## 診察のご案内

### 入院対応

入院のご相談は、地域連携室へご連絡ください。  
夜間・休日も対応しています。  
TEL:086-272-8811

### 外来通院

外来通院の相談は「林病院けやき外来」へご連絡ください。  
9:00~17:00 月曜日~金曜日  
9:00~12:30 土曜日  
TEL:086-272-8570

### デイケア・ナイトケア

9:00~20:00 月曜日~土曜日

### 重度認知症患者デイケア(わたぼうし)

9:30~15:30 月曜日~土曜日



林病院へは…

- 岡山駅よりタクシー約10分
- 山陽本線(赤穂線)西川原駅より南へ徒歩13分
- 岡山駅東口バスターミナルより岡電バス「藤原団地行」、宇野団地入口で下車。西へ徒歩約2分
- 岡山駅東口バスターミナルより宇野バス「東岡山線」、林病院入口で下車。西へ徒歩約2分

## 林病院へのご案内

